



料金別納
郵便

江戸川区議会議員 田中 寿一

2023.03



Juichi report

Dreams

「寿一レポート～DREAMS～」です。

江戸川区議会では令和5年第1回定例会（2/15～3/24）の開催に伴い
「予算特別委員会」を設置、私は委員として新年度予算案の審査を実施するとともに
区議会自民党を代表し「総括意見」を行いました。

江戸川区の未来と将来世代に責任ある区政運営が行われているかを第一に
共生社会ビジョンの策定を受け、2100年という未来とともに生きるため
社会の趨勢に対応するだけでなく、新たな魅力の創造と発信につながる積極的な方策を
区民とともに講じてゆこうとしているか

区民の生命・財産を守る、防災・減災および都市基盤の強化を不斷に推し進めているか
コロナ禍からの回復、更には、発展をめざす、区民並びに区内事業者の活動を支援するものであるか
これらの視点を基本に、万般にわたり審査を行いました。

今号では予算特別委員会における「質問・提案・要望」の概要をお知らせします。

区政運営

次世代にツケをまわさない！健全財政の堅持を。

過去最大規模となる新年度予算案が編成された。SDGs・DX・脱炭素を柱とするものだが、斎藤区長はこれら基本政策の前提には、健全財政があると本会議において話された。
私たち区議会自民党もまた、常に、健全財政堅持の姿勢が貫かれているのかを基本に据えながら、これまでも予算審議等々に臨んできた。一方、江戸川区の財政を取り巻く環境は決して全てが明るいとは言えない見通しにある。（裏面に続く）

(表面から続く) 過去には3年間で400億円もの基金の取り崩しを余儀なくされたこともあり、健全財政こそが、いつ起こるともわからない災害をはじめとする想定外の事態に対し区民生活を守り、あわせて、未来に責任ある区政の柱になることを改めて共有したい。本区は、その財政構造上、景気の動向の影響を受けやすいが、ネーミングライツや未利用地の活用など、歳入確保の視点から区としてできることを積み重ね、幅の広い政策展開に繋げていることは素晴らしい、引き続きこうした取組みを重ね、責任ある財政運営に努めていってほしい。

健 康

「がん」に対しては予防と対策、両面からの充実を。

がんに罹患すると働き方を変えざるを得ない場合や収入減、場合によっては長期休養や離職を余儀なくされるなど、個人・家庭・事業者・社会、いずれにとっても様々な影響が出る可能性があることから、区としても積極的に手を尽くしてゆくべきである。現在策定中の仮称「健康増進計画」では、2030年までの計画期間8年の前半4年間の重点施策として

「がん予防・がん対策」を掲げているが、**生活習慣の改善指導とともに、がん検診の受診率向上を着実に図ってゆくべき。**

あわせて、**図らずも罹患してしまった方に対しては、脱毛など治療による外見の変化をケアするウィッグや胸部補正具などの費用助成「アピアランスケア」を要望する。**



街づくり

まちの使い手・担い手である地域の方々と将来像の共有を。

「船堀4丁目地区市街地再開発」は都市計画に向けた素案がまとまり、近隣の方を対象とした説明会が準備組合主催のもと行われ、今後は都市計画の決定に向け、区による手続きに入る。また、街の将来像となる「船堀駅前地区まちづくり基本構想」の策定とともに、地元の関心もいっそう高まってゆくことが期待される中、オープンハウスの実施などにより、**まちの使い手・担い手である地域の方々と常に将来像を共有しながら、まちづくりを進めてゆくべき。**加えて、こうした再開発・街づくりを単なる街づくりに終わらせず区の魅力や人口増等に活かしてゆく、**シティプロモーションの視点からも担当所管と連携のもと、進めてゆくべき。**



その他、職員一人一人の健康をより質の高い区民サービスの提供に結びつけてゆく**健康経営の導入**／子育て世代の情報交換やボランティア団体の情報発信に資する**地域SNSの導入**／ライフスタイルの多様化を捉えた**シェアサイクル**の拡大／食事・運動に加え**「睡眠」**を柱にした健康づくりの推進／40歳未満の**区民健診**の受診期間の延長／**新川さくら館**と地元の団体・事業者との連携による賑わい創出／実生活の中で知識と技能を活かす力の向上のための**タブレット端末による学習の充実**と学校外で学習と関係なく長時間利用している場合への**対応**などについて、質問・提案を重ねました。